

AIDS UPDATE

No.58 2005.9.8

広島大学病院
エイズ医療対策室

内線5581（輸血部長室）

Internet: www.aids-chushi.or.jp

広島大学病院エイズ講演会

～HIV感染妊婦の出産をめぐる～ 【日程の変更】

■ 先日の台風14号の影響で、9月6日(火)に予定していた広島大学病院エイズ医療対策室主催の講演会『HIV感染妊婦の出産をめぐる』が延期になりました。

■ 会場・開始時間、内容に若干の変更があります。広島市民病院産婦人科の伊藤先生には、広島市民病院で経験された、HIV感染妊婦の実際の手術の内容をお話いただきます。準備から、手術・術後のケアに至るまで、具体的なチーム医療のお話が聞けると思います。関係部署のスタッフの方、お時間の都合のつく方はぜひご参加ください。

広大病院エイズ医療対策室主催講演会 《HIV感染妊婦の出産をめぐる》

日時:2005年9月9日(金) 18:00～19:30

場所:外来棟3階 中会議室

講師:伊藤裕徳(広島市民病院産科医師)



冊子『見おとし注意!』

監修:今村顕史(都立駒込病院)ほか
協力:ブリストル・マイヤーズ(株)

□ HIV感染症とは気づかないまま、他の疾患の発症から一般診療を受けていたり、エイズが発症してから、あるいは患者さんの訴えから、はじめてHIV検査をおこない、陽性と判明するケースの報告があとをたちません。こうした状況のなか、「HIV感染症を早期に診断するヒント」が詰まった冊子が発行されました。

□ 第一部の「HIVの診療の問題点」では、日本における現在のHIV感染者、AIDS患者数をはじめ、感染が判明したきっかけ、既往歴などを紹介しています。抗体検査の告知の際のアドバイスも参考になります。第二部からは、おもな「HIV感染症が見つかりやすい病気や症状」について説明しています。どの科でも、HIV/AIDSの診察の可能性があることが大変よくわかります。

□ ブリストル・マイヤーズ(株)に依頼すると、希望部数を送ってもらえます。各部署でご活用のほか、研修や勉強会、講演会などで配布されるなど、追加でご希望がありましたら下記宛までご連絡ください。

＜ご意見募集＞

「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部(5581)までお寄せ下さい。

[TAKATA, OE]

nobotaka@hiroshima-u.ac.jp